

No. 1458

おもちゃショー

「'83 おもちゃショー」が6月16日から4日間、東京・晴海で開られました。

国内メーカー145社を始め海外から22社も参加。伝統的なおもちゃから新しい企画のものまで約2万点が展示されました。今年が目玉商品の一つとしてラジオコントロールカーの販売に力を入れています。一方ラジコンを子供のおもちゃで終わらせるなど若者の間でもラジコン熱が盛んになっています。

レースに出すラジコン一式の費用は5万円以上とか。広場の少ない都会の若者にとってラジコンは陰れた人気を呼んでいます。

フラッシュ

① 下町の夏の風物詩。ほおずき。

ことしは、5月中に好天が続いたため、例年になく伸びがいいとか……。

② 米航空宇宙局(NASA)の設立25周年を記念した「大スペースシャトル展」が東京・日本橋で開かれています。

和傘

—岐阜・加納—

「からかさをさしたるに風のいたく吹きて、横ざまに雪をふきかくれば……」清少納言が、枕草子の中で美しくうたいあげた情緒、“かさ”。岐阜県、加納——中心街から少しはずれたこのあたりは和傘の生産地として知られている。和傘づくりのほとんどは家内工業。坂井田さん一家も、そのひとつ、家族全員で傘づくりを続けている。加納傘の歴史は古く、350年前、加納藩主となった松平丹波守光重が明石から傘職人をつれて入国、傘づくりを奨励したのがはじまりだという。

和傘づくりは十数種の材料をそろえ、工作は百を数えるほど、しかも最近では真竹や和紙の入手も困難。

例にもれず、洋傘に完全にその主役の座を奪われている。梅雨のあい間に庭に咲く竹と和紙の芸術品、和傘。